

人口 8,594人

男 4,065人

女 4,529人

世帯 1,921

(昭和45年6月1日)
現在住民登録人口

あに

編集と発行 秋田県阿仁町役場総務課
印刷所 秋田県阿仁町阿仁合印刷所

45年

6月

92号



ワイイあと少しだぞー

- ◇ 運動会は、子ども達にとつては最も楽しみな行事のうちの一つ。無心に走る子ども達の元気な姿、われをわすれ、立ち上つて吾が子に声援をおくる家族の姿など、親子のほゝえましい情景が見られるのも、小学校の運動会ならではです。

五月十七日町内では五つの小学校で運動会が行なわれました。うすぐもりの絶好の運動日和もあつて、各会場ともたくさんの方々が詰めかけ子ども達の力走やゲームを見ながら、農繁期の春の一日を楽しんでいました。

阿仁合小学校一年生の球割りゲーム、水無グラントで

ボクを忘れないで



郵便番号は住所の一部です。番号を書くことによつて郵便物がすみやかに処理され、それだけ速く、正確に配達されることになります。なお、差出人の番号も書くとお互いに便利ですよ。忘れず書くように致しましょう。

住宅資金貸付

昭和四十五年個人住宅(農山漁村を含む)建設資金および住宅改良資金の借入れ申込みを受付けています。

○受付期間

5月18日～10月31日

○受付場所

秋田銀行阿仁合支店

○貸付金の限度

構造、面積により五十万円から百三十四万円まで

○利率 五・五%～六%

返済は十年～三十五年

くわしくは役場または

銀行へおたずねください

小沢橋が完成

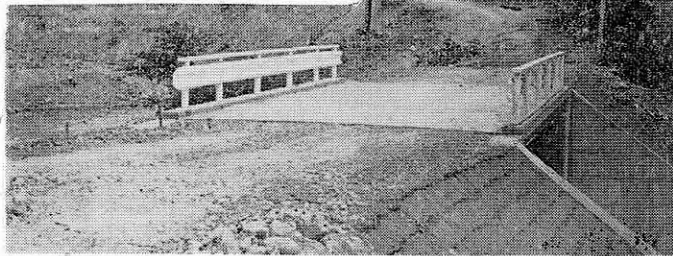
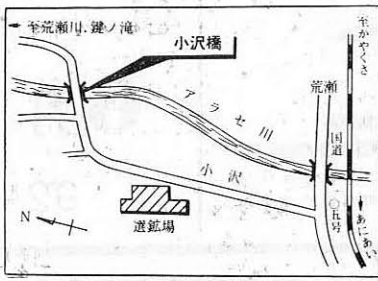
町道荒瀬川

「不便をおかけしました」 五月十日竣工

昨年七月の集中豪雨により、災害で流失した小沢橋が、その後の復旧工事の結果、よそおいを新に永久橋として誕生しました。

同橋は、町道荒瀬川線にかゝる重要な橋であり、奥地の森林資源の開発や、荒瀬川各部落住民の交通確保には、農業構造改善事業の放牧地である鍵ノ滝開きん地に至る通行のためにも欠かせないもので、早くからその完成が待たれていたものです。

災害をうける前は、暗きよであつたのですが、ご覧の通りの立派な橋になりました。



した。橋がなかつたため、地域のみなさんには大へんご不便をおかけしましたことをお詫びいたします。

また、水害のため、工事着工が一年延期となつた高津森放牧地の大規模草地改良事業も、橋が完成したことにより、いよいよ本格的に工事にとりかゝれることになりました。

- 長さ 九・四メートル
- 巾 五メートル
- 工費 七八八万円
- 施工主 秋田土建
- 竣工 五月十日

林道工事入札

- 小様林道 路盤側溝改良 二八八万八千円 佐幸組
- 根子林道拡中排水工事 五九五万二千元 上杉組

法務局の建築

完成は六月末

秋田地方方法務局阿仁出張所の建築が、着々とすゝめられていきます。

場所は下新町町営児童プールのすぐ南側で、工事は二年越しに延々となつていたのですが、二月から工事着工、すでに棟上を終え六月末完成の予定となつていきます。

なお新法務局での業務開始期日については、後日お知らせ致します。

ご協力ありがとうございます

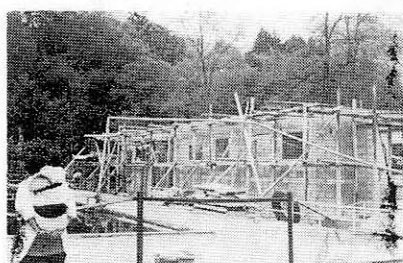
日赤社費に
二十七万二千元

人類愛の精神で社会に奉仕する日赤の社費募金運動が、六月いつぱいわたつて行なわれましたが、奉仕団員のご努力と町民各位の理解とご協力により、二十七万二千元という尊いお金をいただきました。

目標の十九万六千二百円をはるかにオーバーした額となつています。

こうして全国から寄せられたお金は、日本赤十字を通じて人類のしあわせのために役立てられますが、この

○ブロック造、平家建
一・二七・八九平方米
工費 四百三十二万円
施工主 松岡組



昭和45年度 部落別日赤社費募金

部落名	戸数	金額	部落名	戸数	金額
突内	44	4,660	上新町	103	26,000
実木	14	1,820	上下小	19	2,470
御蔵住	5	650	新屋	26	2,600
置草	69	7,180	幸島	31	5,500
大町	76	14,620	吉屋	34	1,100
新町	133	41,990	幸吉	84	10,100
下町	10	1,300	荒瀬	63	6,400
三東	34	4,500	吉瀬	149	25,070
長ノ	58	7,540	小根	28	4,550
戸鳥	70	9,920	新根	32	4,330
小伏	32	4,160	比立	86	11,090
中丁	14	3,100	比立	131	18,480
東新	40	5,500	比立	17	2,280
御湯	35	5,310	比立	16	600
口	11	1,400	比立	15	3,000
横小	20	4,900	比立	10	1,200
	32	4,160	比立	28	2,800
	49	9,940	比立	16	2,080
	39	7,740	計	1611	272,100
	12	2,050			

のたびの、南米ペルーでの地震災害にもきつと役立てられることになるでしょう

五百円以上寄金された方及び部落別募金は次の通りです。(順不同敬称略)

◎五百円

小武海芳雄、宮越富士之助、牛渡勸、東海林真澄、石井輝雄、山田賢三、伊藤勇治、川上彰太郎、片岡立

細田利地郎、種倉チャ、北林四郎、児玉孝一、田村駿

一、梅村教雄、山形功逸、武石清治、辻訓、高田正七

魚住金治、伊藤キサ、佐京静子、八田喜一郎、近藤米

蔵、石田米治、安保四方治、春日敏伸、吉田要蔵、高田

鉄雄、近藤直蔵、八田要蔵、八田順治、松橋久馬、横堀

高環鉄弥。

◎一千元

杉田佳政、草薙忠明、近藤竹雄、宮原忠美、田中保

清、神成一、宮原庄三、伊東孝徳、沢井作蔵、今井

乙磨、湊修一、佐藤茂直、福島晴、渡部竹治郎、伊藤

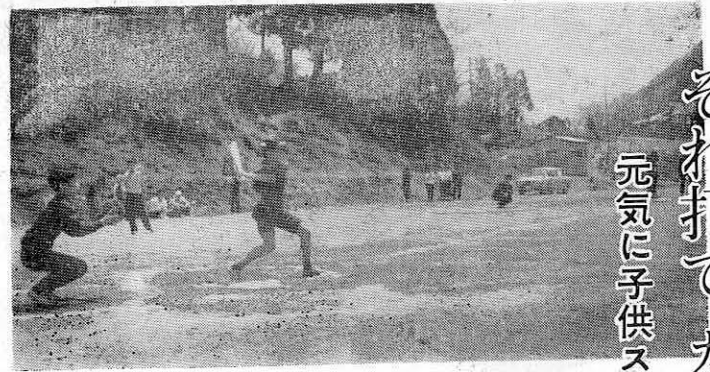
昭夫、飛沢奥松、湊貞男、湊荒男、上杉一郎、西根正

高環鉄弥。

六月は国民健康保険税第二期の納期ですお忘れなく

それ打て、ガンバレ

元気に子供スポーツ大会



子どもの日の記念行事として、こども達の大好きなスポーツ大会が、五月十日の日曜日、阿仁合中学校で行なわれました。

グラウンドではソフトボールの試合、体操場では卓球とバレーボール、古河会館ではバトミントンと、春の陽ざしをいっばいうけて町内の各子ども会をはじめとする男女

各チームが、精いっぱい汗を流していました。大会は青少年の健全育成の一環として実施したものです。当日は町長をはじめ議長、教育長が子ども達を激励し、またソフトボールの試合では大声で応援するパパの姿が見られました。町では、こうした行事等を通じて、更に一層青少年の健全育成をはかつていく方針です。

各種目の成績は次の通り

- ◎バレーボール
 - 優勝 上新町子ども会
 - 二位 荒瀬スポーツ少年団 A
 - 三位 B
- ◎卓球
 - 優勝 荒瀬スポーツ少年団
 - 二位 水無子ども会
 - 三位 上新町子ども会
- ◎卓球個人戦
 - 一位 佐々木憲一 荒瀬

国民年金

国民年金には五年間保険料を納めれば老齢年金が受けられるという、いわゆる高齢者のための五年年金制度があります。この五年年金制度への加入の申込みは今年の六月三十日まで。縮切られ、その後は希望しても加入できず、年金を受けられなくなり、加入できず、加入できなくなるまで加入の手続きがすすんでいない人は、急いで

役場に加入の申込みをしてください。

五年年金制度に加入できる人は、次の要件を備えている方です。

- ① 明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までの間に生れた方。
- ② かつて国民年金の被保険者にならなかったこと
- ③ 加入の際、他の年金制度の被保険者や組合員でないこと。
- ④ 他の年金制度から老齢年金・通算老齢年金、普通恩給を受けていないかまたは受ける資格期間を満たしていない方。

以上の条件に該当する方は、月額七百五十円の保険料を五年間納めると、年間三万円の老齢年金が支給されます。

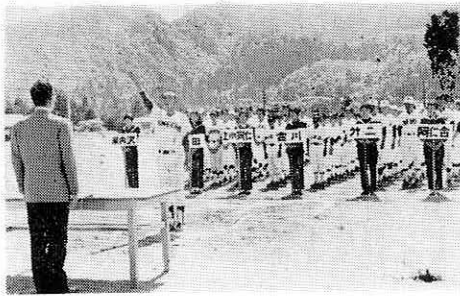
有利な五年年金制
申込は6月30日迄

米内沢が優勝

五月三十、三十一日の両日、春の阿仁部中学校野球大会が阿中グラウンドで参加六チームにより行なわれました。各チームとも

二位 三杉 俊彦
三位 佐原 邦久、上新町
◎バトミントン
小学生
一位 御倉子ども会
二位 上新町子ども会
中学生
一位 奥阿仁スポーツ少年団
二位 荒瀬
三位 上新町子ども会
◎ソフトボール
優勝 上新町子ども会
二位 水無子ども会
三位 荒瀬スポーツ少年団

阿仁部中学校
野球大会



残雪を踏みしめ

森吉山山開き

夏山の幕明けをつける阿仁町主催の森吉山山開きが



五月二十四日行なわれました。幸屋林道から車を降りて美しいブナ帯の若緑の中を、さらに途中から残雪を踏みしめながら頂上までの約二時間、折からの好天もあつて約四十名の参加者は、山のだいたい味を満喫しながら、ことし一年のお山の安全を祈願しました。

これから秋までの間は、ことしも例年以上の賑わいとなることでしょう。

商工会と役場が優勝

昭和四十五年度の阿仁町野球連盟主催の町内野球大会が、五月二十三、四日阿中グラウンドで行なわれ、参加八チームによる熱戦の結果、商工会と役場が優勝をわちあいました。

一回戦
役場(不戦勝) 菅林署 商工会 8-10 吉田
郵便局(不戦勝) 教員 林業 (不戦勝) 鉱業

準決勝
役場 13-16 郵便局 商工会 15-18 林業

決勝
商工会 3-13 役場 (日没引き分け)

一回戦
米内沢 7-10 阿仁第二 阿仁合 2-10 前田

準決勝
米内沢 2-11 上小阿仁 阿仁合 2-10 合川 (延長九回)

決勝
米中 0-0 0-1 x 1 阿中 0-0 0-0 0-0

米 割当上廻る八五・四ヘクタール

町の減反計画決る

ことしの町の米生産調整実施計画がまとまりました。ご存じのように、国の農業政策の一環として、全国的に減反措置が講じられていますが、阿仁町にも今年度は四〇・七ヘクタールの減反割当があり、二月以来各地区の減反希望をまとめるなどして、調整してきましたが、その結果通年施行を含め二百四十八農家で、八五・三九ヘクタールの面積を減反することになりました。

うちわけをみますと、圃場整備通年施工が四九・五ヘクタールで最も多く、休耕が二〇・三ヘクタール、他の作物への転作が十五・六ヘクタールとなつています。

転作物の主なものは飼料大豆、小豆などです。

この結果、町では米の減産割当量百五十一・四トンに対し二百九十九・六トンの減産となる見込みです。

タヌキかムチナか？

五月二十九日のこと、山菜取りに行つた老人ホームの福原さんが小淵トンネル付近の沢で愛犬のチビ公と格闘している体長二尺余のケモノを発見、とりおさへ

てホームに連れて帰つたがタヌキだ、いやムチナだとけんけんがくがく、結局メスの古タヌキということになつたがさてその処理について困惑、色々と各方面に照会してみたらどうしても名案が出ず、ついに人様の体内で永住することになつた。当地は昔から人をだますムチナが居るといわれ、これでの心配も無くなつたとか、ちなみに、タヌキとムチナは同じものとのこと。



タヌキかムチナか？

部落別減反面積

部 落 名	希望面積	農家数
打中	111	5
戸長	1,031	24
比	1,359	30
幸	265	12
笑	393	9
伏	508	16
根	613	22
露	889	20
荒	125	11
湯	418	10
吉	1,494	42
小	161	6
下	353	16
上	22	3
荒	57	2
小	8	1
瀬	16	1
川	132	2
瀬	248	9
川	336	8



出生・死亡の届出が便利になりました。

出生や死亡の場合の届出が便利になりました。いままでですと、生まれたり死亡したときは、その事実の発生した所在市町村の役場でなければ届出ができませんでしたが、法律の改正により四月一日からはどこの市町村で出生、死亡の事実が発生しても、その所在市町村役場のほかに現住所、本籍地である町の役場にも届出ができるようになったものです。

例えば阿仁町の人が、米内沢か鷹巣の病院に入院して子どもを産んだ場合、いままでですと米内沢か鷹巣

慶弔だより五月

◎こんにちは・赤ちゃん

出生 (保護者) 住所
 佐藤 善秀 (忠正) 大平
 佐々木茂樹 (定雄) 露熊
 佐々木信行 (一宏) 荒瀬
 中村 昭人 (昭雄) 〃
 中村 祥 (信一) 〃
 小林 篤子 (昭一) 上新町

◎結婚ーおしあわせに

(加賀谷直人 新中
 高堰 恵美 野尻
 鈴木 長治 中村
 高堰 富美 鳥越
 西根 征馬 幸屋
 田口 並子 秋田市

◎お祝い

(加賀谷時代 榎木沢
 三ツ倉順子 鷹巣町
 渡辺 隆 新潟県
 高堰 貞子 戸島内
 松橋 正勝 菅生
 西原 啓子 神奈川
 加賀谷重雄 荒瀬
 松橋 悦子 幸屋渡
 久住 了 森吉町
 中島 カネ 小沢
 伊東金一郎 森吉町
 伊東チエ 笑内

役場異動

◎五月十五日付経済課勤務
 吉川 将祥 (税務課)

※組合の斗争で処分をうけていた殿村、松岡の両氏について、このたび話し合

いにより解決し、四月一日付をもつて次のとおり発令になりました。

◎経済課勤務を命ずる
 松岡 勇輔

◎病院勤務を命ずる
 殿村 義郎

- (梅井 金松 吉田)
- (吉田 俊子 〃)
- (湊 一彦 荒瀬)
- (小林十三子 東京都)
- (佐藤 良一 鷹巣)
- (山田 信子 笑内)
- (岩瀬 功知 神奈川)
- (佐々木三伴子 荒瀬)
- (高田 正造 新町)
- (工藤 京子 畑町東裏)
- (安達 寛 大館市)
- (加藤 亨子 畑町)
- (大野 永治 新町)
- (芳賀 ミチ 比内内)
- (辻 昭次郎 湯口内)
- (秋元 悦子 森吉町)
- (上杉 正良 萱草)
- (佐藤ひろみ 森吉町)
- (佐藤 常蔵 (51) 比立内)
- (佐藤 豊松 (79) 中村)
- (渡部和太郎 (67) 鍵の滝)
- (飛沢 ヤス (70) 大町)
- (伊東 ナカ (68) 笑内)
- (吉田ツルエ (67) 吉田)
- (十時玉太郎 (72) 老人ホ)
- (佐藤 リツ (76) 根子)
- (小松 アク (70) 下新町)
- (佐藤トメノ (79) 笑内)